

バリアフリーボランティア ステップアップ研修会

公益財団法人 仙台市市民文化事業団
〒981-0904 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5

助成事業の概要

当館が行う目の不自由な方の情報利用支援サービスのさらなる充実を目指し、音訳・点訳ボランティアの知識と技術の向上を目的とする研修会をテーマごとに実施。

■音訳ボランティア研修

主に当館で音訳ボランティア活動を行う方を対象に、外部講師を招いて、音訳における技術の基礎から発展、応用までを学ぶ研修を行う。

①読み方研修（基本）

日時：1 回目 平成 28 年 8 月 9 日、23 日、30 日

2 回目 平成 28 年 8 月 7 日、21 日、28 日

※同内容の研修を 2 回実施。

※8 月 30 日は台風のため、9 月 27 日に振替で実施した。

②読み方研修（発展）

日時：平成 28 年 12 月 7 日

③取扱説明書の処理の仕方

日時：平成 28 年 10 月 4 日、5 日

■点訳ボランティア研修

④点図作成の基礎研修

日時：平成 29 年 3 月 1 日、3 月 3 日（各日 3 時間）

⑤点訳の表記と校正研修

日時：平成 28 年 9 月 12 日、13 日（各日 2 時間）

事業の成果

■音訳ボランティア研修

①読み方研修（基本）：参加者 延べ 26 名

音訳と朗読を混同しているボランティアがまだ多くいることがわかったため、今後は音訳に特化した研修を実施する必要がある。反面、音訳技術をより実践的に理解できたボランティアもいた。

②読み方研修（発展）：参加者 50 名

現在まで習ってきたことの復習になった。またアナウンサーによる発生や発音のコツや、マイクを使った場合の問題解決方法を指導いただき、改善の道筋が見えた。

③取扱説明書の処理の仕方：参加者 82 名

講師が視覚障害者のため、より具体的な処理の仕方、よりよい解説の作成方法を学べた。取扱説明書の要不要部分をすばやく理解し、簡潔な説明方法を身に付ける必要があるが、これは多くの取扱説明書を処理しなければ、身につかないため、ある程度マニュアル化が必要ではないかと考えるきっかけとなった。

■点訳ボランティア研修

④点図作成の基礎研修：参加者 各日 23 名

研修では、点図作成について専門的知識を持つ講師および実際に作成に携わる方を招き、点図の基礎知識と、作成ソフト（エーデル）の操作を様々な点図の作成の実践を進めながら学んだ。成果としては、ボランティアが初めて取り組む点図作成について、今後の点訳活動にも大いに活かせる知識と技術の基礎が身に付けられたことである。

成果の広報、公表

- ・各研修の成果は、活動ボランティア、登録団体の中で、さらに勉強会などを開いて共有した。
- ・研修会の実施については、地域の関連施設（宮城県視覚障害者情報センターなど）へも周知し、職員やボランティアの間で情報共有を図った。
- ・研修会の実施報告については、せんだいメディアテークのウェブサイトの年報にて紹介を行う予定である。（平成 29 年 6 月公開予定）

今後の展開

- ・研修会で学び得た知識と技術は、勉強会などを開き、広く製作ボランティアや職員ともに共有し今後の製作活動、サービス向上へとつなげていきたい。
具体的には、音訳制作の技術向上（より伝わるために必要な音訳方法、取扱説明書など高いスキルが求められる資料の簡易なマニュアル制作など）、点訳資料の内容の向上（適切な情報伝達、視覚的情報を多く含む資料など多様な資料情報の点訳化）、総じて、利用者のニーズに応え、さらに利用環境を充実させていく活発な活動を行っていきたい。
- ・今後も、ボランティアの活動、サービスの向上に直結するような研修の場を継続して実施していきたい。
- ・地域をはじめとした関連施設との連携協力も強化しながら、サービス向上に努めたい。